

降誕節第1週 主日礼拝

2014年12月28日

第一礼拝(8:00~) 第二礼拝(10:30~) 夕拝(19:30~)

前奏	(新聖歌41)			
招きのみことば	『ヨハネの黙示録』3章19-22節	司	会	者
※開会の賛美	新聖歌4「小羊をば」	—		同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—		同
代表祈禱		司	会	者
感謝の賛美	新聖歌83「馬槽のかたえに」	—		同
聖書朗読	『ヨハネの福音書』2章13-22節(新約175頁)	司	会	者
聖書黙想		—		同
説教	「きよめられることを恐れるな」	近	伸之	牧師
黙想		—		同
※応答の賛美	新聖歌100「御国をも御座をも」	—		同
感謝の献金	(新聖歌55)	—		同
感謝祈禱				長谷川睦子姉
諸案内	(来信と集会案内)	司	会	者
諸報告	(来会者紹介と諸報告)	近	伸之	牧師
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	—		同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—		同
※祝福の祈り				近 伸之 牧師
※後奏	(新聖歌59-7)			

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)

司会：片山 健司兄 録音・映像：片山 勝三兄 CS担当：片山 初子姉
 集会：笹川 清子姉 演奏・操作：
 説教の録画：山崎 敬典兄 掃除：佐藤 鈴子姉

説教メモ

1. 教会を迎えるクリスマスは、この世に便乗した騒がしいクリスマスになっていないか。主イエスが神殿を訪れて失望したのは、「祈りの家」であるはずの神殿が騒がしい「商売の家」に墮している姿であった。
2. 神の怒りはすなわち愛である。愛ゆえに主はさばかれる。地上でさばかれるからこそ、罪人は悔い改めへの選択肢にあずかることができるのだ。主は、教会を愛するがゆえに、その隠れた罪もさばかれる。
3. 教会とは、建物のことでも、信徒の集合体のことでもない。教会とは、それぞれの信者である。信仰は孤立してはならないが、組織に依存してはならない。まずあなたの心がきよめられなければならない。

個人、団体からの来信

2014年12月28日

新津教会より、「ロレイン・リース夫人歓迎夕食会の案内」(1/10土 夕方6-8時) / 新年聖会のご案内(1/12月・祝) / らいふだより / 『PBAだより』vol.634 / 総動員伝道 / 『希望』第58号 / 医療宣教会(代表・武知由佳子姉)よりお菓子の贈り物

先週の集会出席者数

12/21(日)	教会学校と第一礼拝は休会		12/23(午前)中村家訪問	男2 女3
12/21(日)	特別礼拝	男13 女23 計36 子7	12/23(午後)ながうらの郷	男5 女9 子2
	お祝い会	男11 女22 計33 子7	12/24(水) クリスマス燭火礼拝	男6 女13 計19 子2
	夕 拝	男1 女- 計1	12/26(金) シャベリ場タビタ	男- 女4 計4 子1
12/22(月)	家庭集会	(休会)	12/26(金) 金曜祈禱会	男- 女4 計4

諸集会のご案内

12/30(火) 19:30~	バルナバ祈禱会	司 会：横堀 正美兄
1/1(木・元旦) 11:00~	新年礼拝	
1/2(金)	(しゃべり場タビタ)	
1/2(金)	(金曜祈禱会)	

1/4(日) 降誕節第2週

第一礼拝 8:00~	司 会：近 伸之牧師 説 教：近 伸之牧師	音 響：片山 勝三兄 献 金	聖餐準備：担当役員
教会学校 9:00~	担 当：佐藤 繁実兄		
聖餐礼拝 10:30~	司 会：近 伸之牧師 集 会： 配 餐：横堀 正美兄	音響・映像：片山 勝三兄 演奏・操作： 説教の録画：山崎 敬典兄	感謝祈禱：森田 澄子姉 掃 除：長谷川睦子姉
主日の予定			
礼拝について (聖餐礼拝)			
夕拝 19:30~	司 会：近 伸之牧師 説 教：近 伸之牧師		

報 告

1. 礼拝の感謝
礼拝の恵みを感謝します。この後は昼食をいただき、有志にて会堂の清掃、そして委員会などを行います。よろしくお願ひいたします。
2. 新潟山形宣教会・新年聖会について
2015年1月12日(月・成人の日)に、万代市民会館にて同集会が行われます。昨年同様、参加人数やお弁当数を担当者に連絡する必要は無いのですが、教会内での情報整理のため、参加者名簿を掲示しております。個々で確認の上お早めにご記入願ひます。
3. 先週の来会者
12/21(主日)クリスマス礼拝来会：猪爪涉さん、五十嵐天斗羅くん、堀ミサさん(小山姉の叔母様)

クリスマスの物語の中で、天の使いのメッセージを聞いた羊飼いたちが、ベツレヘムに行って飼葉おけの中に寝かしてある幼子を捜し当てたところがあります。

羊飼いたちは、御使いのメッセージを聞いて信じて実際に行ったから、救い主イエスに会うことができたのですが、彼らはまた自分の目で救い主を見たので、人々に伝えずにはおれなかったのでしょう。クリスマスとは、この羊飼いたちのように、キリストに出会った人々がその大きな喜びを人々にお伝える季節でもあるのです。

ところで、ステンバークといえは、中世の有名な画家ですが、彼についてこんな話があります。彼はある時、聖ジェローム大聖堂のユーゴー神父に「十字架」の画を頼まれながら、未完成のままジブシー娘のペピタをモデルに、踊り子の絵を描こうとしていました。ところが、そのペピタは十字架の絵の主人公を見て不思議に思い、ステンバークに色々質問して止みません。そこで彼はペピタを納得させるために、ただ一度だけと約束して、なぜキリストが十字架につけられたかを説明してやりました。

その話は彼にとっては、何の感動もない古い話でした。しかし初めて聞いたペピタは「では先生は、この方をとても愛しておられるんですね。だって、あの方は先生にあれほど尽くしてくださいました。」

ペピタにじっと見つめられて、ステンバークは赤面しました。そして苦しみました。いくら懺悔しても、彼の心には平安が与えられなかったからです。しかし後に、彼は改革派教会の牧師の説教で、キリストの強い愛に触れ、あれはみな自分のためだったことを知るので。そして「どうしたら、この愛を人に伝えることができるだろうか。私の心に光を与えてくれたこの愛を。……そうだ、私は口は下手だが、絵ならかける」そう決心した彼は、その時まで金のために描いていた十字架を、その時以来キリストの愛を人に伝えるために改めて、描き始めたのです。

後年、彼の描いた十字架の絵の下に立った、若い侯爵ツインツェンドルフが、感動のあまり自分の名誉も財産も生命までもささげて、この偉大なキリストの愛に応えたということは有名な話ですが、そのためにモラビア派の伝道会が生まれ、多くの宣教師が海外に派遣され、数えることのできない多くの人がキリストによって新しい生活に入ることになりました。

キリストの偉大な事業に感動した羊飼いたちが、人々に伝えずにはおれなかったように、キリストの偉大な愛に触れたステンバークも、また人々に伝えずにはおれなかったのですが、クリスマスの喜びというものは、このような人々によって、地の果てにまでも語り伝えられて行くのです。



2014年度教会目標

「互いに励ましながら」

年間目標 牧師・信徒がそれぞれ同じ教会のからだの一部分であることを自覚し、とりなし、励ます教会へ「ただ強く、雄々しくあってください」(ヨシヤ1:18b)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「キリストの御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めたのです」(ロマ15:20)

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



1/3(土)は、年末年始の番組編成のためにお休みです。

「お元気にお過ごしですか。いつも『ライフ・ライン』をご覧いただき、ありがとうございます。番組のタイトルになっている『ライフ・ライン』とは、直訳すれば「命綱」という意味です。私たちは番組を通して、人生の大切な『ライフ・ライン(命綱)』とは何かを、いろいろな方々のお話や聖書から一緒に考えていきたいと願っています。」(番組パーソナリティ 関根弘興)

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>

電子メール: info@toyosakakyokai.com

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

